

寄生バチの世界

ハチと聞いてすぐに思い浮かぶのはミツバチやスズメバチだと思いますが、実はハチの中で最も種数が多いのは寄生バチの仲間です。

寄生バチとはどのようなものか、どのように生じ進化しているのか。

愛大昆虫学研究室の小西先生に、ご自身の研究を交えながら、知られざる寄生バチの世界を案内していただきます。

アリの幼虫に産卵するアラカワアリヤドリバチ



◆お申し込み お名前、電話番号、e-mail アドレス(お持ちの場合)を明記の上、下記連絡先までお申し込みください。

(個人情報 は適正に管理し、当事業関係のご連絡にのみ使用します。)

NPO 森からつづく道 (松山市鉄砲町1-7)

e-mail: info@morimichi.org

FAX: 089-992-9152

主催: NPO 森からつづく道

後援: 愛媛大学ミュージアム



ハモグリバエの寄生蜂 *Chrysocharis pentheus*

日時 平成30年

6月26日(火)

19:00~20:30

場所 愛媛大学 松山市文京町3番
愛大ミュージアム (ミュージアムがある建物)
1F ミュージアム多目的室

対象 自然に関心がある人 30人

参加費 200円

◆話題提供 小西 和彦 さん

愛媛大学ミュージアム 教授

1959年福岡市生まれ。農林水産省の研究所(つくば市と札幌市)を経て、2014年から愛媛大学。

寄生バチの分類を中心に、害虫の天敵としての利用や生態について研究してきました。

ミズバチに寄生されたトビケラの巣を採集しているんですよ!

小西先生~、何してるんですかあ?

